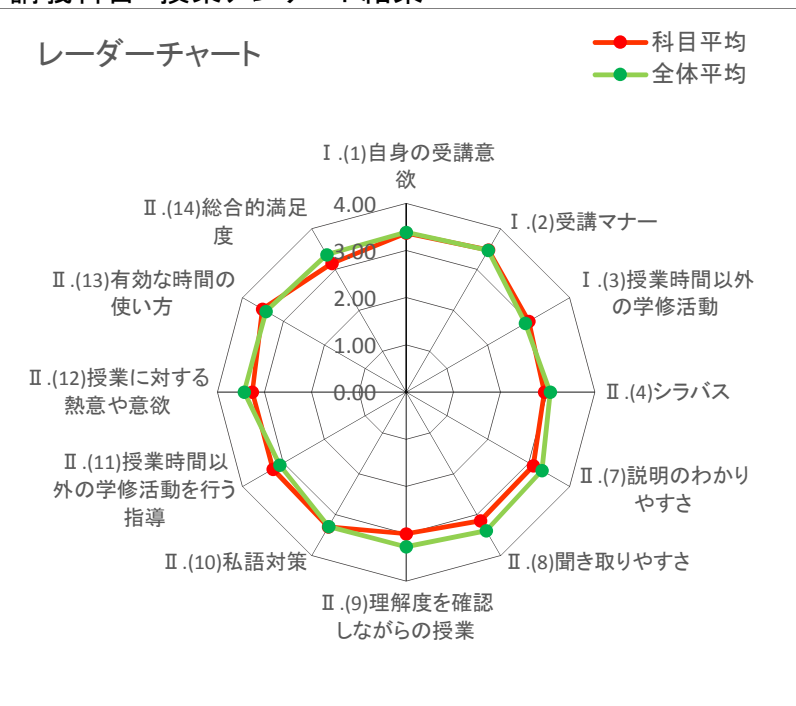
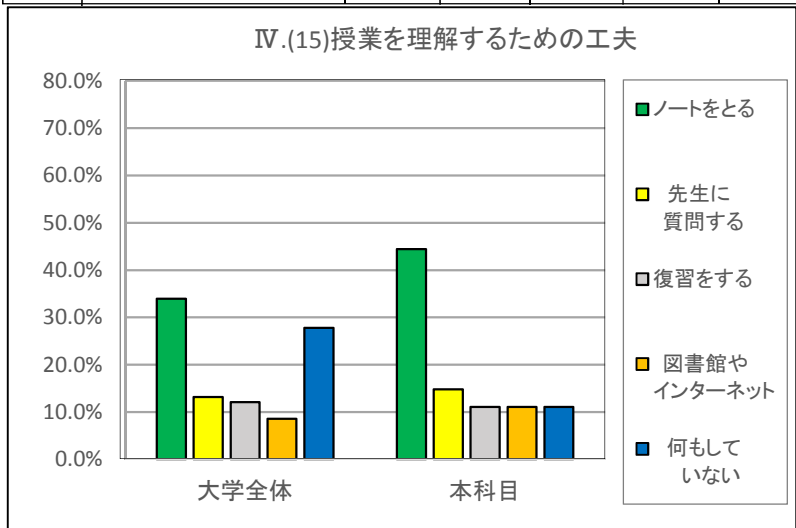


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	44.4%	14.8%	11.1%	11.1%	11.1%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.37	3.39
	I.(2)	3.48	3.47
	I.(3)	3.00	2.91
受講内容・方法	II.(4)	2.93	3.05
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.11	3.32
	II.(8)	3.15	3.39
	II.(9)	3.00	3.27
	II.(10)	3.30	3.28
	II.(11)	3.26	3.09
	II.(12)	3.26	3.43
	II.(13)	3.52	3.43
満足度	II.(14)	3.15	3.36

授業年度	2014年度 後期
時間割番号	32104
科目名	英会話Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について  
 本授業は、シラバス通り、「英会話Ⅰ」で学習した文法・語彙を発展させながら、相手と自分の背景の違いを認識し、どのような意図で相手が言葉を発し、それに自分がどのように答えるのかという他者との関係を意識した英語コミュニケーション能力の向上を目指した。しかし、実際には、授業計画は達成したものの、言葉の背後の意味まで考える指導まで行き着かなかったというのが実情である。ただし、英語コミュニケーションに対しての不安は多少なりとも払拭できたと考えている。

②授業の進め方について  
 毎回めあてを提示し、前回内容の復習から始めて、該当回のトピックと文法事項の学習をできるだけ会話を含めたタスクによって達成できるよう工夫した。また、プリント説明を再度パワーポイントや板書を使用しながら説明する場面も多くあった。熱心に授業に参加する学生とそうでない学生の差が大きく、学生間の助け合いもみられた。授業内で2回行った台本作りと発表では、人前で英語を話すことの大切さが伝えられたらう。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 クラスの習熟度に合わせて授業を行ったつもりであったが、文法事項など、後期授業内容が前期よりも難しくなっていたため、今回の結果になったと考えられる。それが、「授業の難易度が高い」の3.48に表れている。実際に、用意していたタスクをすべて終わられない授業回もあった。今後は前期内容から見直し、後期へと進めていけるように配慮する必要がある。また、受講生が英語が教育実習で必要であるという自覚を深め、自宅学習をするようにさらに促すようにしたい。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.28	3.26
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.19	3.28
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.15	3.36
III.(14)		